

たかしま市
まちづくり
情報誌!

たかしまウオッチャーズ

第14号
2011~2012
12・1月号

●発行/たかしま市民協働交流センター

高島市を元気にしよう!!

そんな想いで平成23年も多くの人々や団体によって
いろいろなまちづくり活動が繰り広げられました♪



市民グループが歩道の雪かき(1月)



(まちづくり)新春のつどい(1月)



畑の棚田 オーナー田植え(5月)



被災地支援活動(6月)



高島音頭合同練習(8月)



まちづくり交流会(9月)



抱きしめてBIWAKO(10月)



まちづくりボランティア養成講座「たかしま塾」(6月)



風人の祭 in 湖西 2011(11月)



たかしま・まちづくり研修会(11月)



風と土の交響 in 琵琶湖高島 2011(12月)



子どもフェスティバル(10月)

◆目次

P 1・2 まちづくり特集・私たちの抱負

キラキラ☆NPO・市民活動

P 3 マキノのメタセコイア並木を守り育てる会

P 4 よさこいグループ近江座禅童子

P 5 わがまち散歩～すてきたかしま再発掘～
言の葉たより

P 6 新春のつどい

6つの真珠 / 高島市における市民協働の歩み

P 7 たかしま INFORMATION

私たちの抱負 2012

私たちは、家族や地域のつながりで結ばれ、お互いに助け合い、思いやりを持って生活することで心のやすらぎや地域の安全をつくり上げてきました。しかし、近年の急速な核家族化や社会構造の変化などから地域の連携や共同活動に大きな影響が出つつあります。このような中、高島市では、川上の人は川下の人のためを思い、川下の人は川上の人に感謝するという「水」で繋がった意識や生活文化を受け継いできまし

た。そして、200を越える区・自治会がコミュニティを守るため自主的な自治活動を営む一方で、様々な地域課題や問題を解決したいという想いを持った150を越える市民団体が活動しています。こうした意識や活動を更に発展させ、自分達が出れることは自分達で知恵と汗を出し合って地域を守っていくこととする「新しい公共」の概念が益々重要になってきます。

しゃぼん玉ふわふわ



新年おめでとうございます。私達は「絵本の力」ってすごいと信じるおはなしグループです。

子ども達に伝えていきたい、読んであげたいと思う絵本をたずさえて、図書館、小学校、学童、保育園、他にも依頼があれば、各種団体の催物の場にも出かけます。

おはなしに聞き入る子ども達の真剣な眼差しと、「次はこわいお話してな」などの一言に励まされ、次の準備に取り組みます。少しでもお話の世界へとページサートやパネルシアター等も手作りしています。時間確保が難しいものの、仲間と作る作品作りは本当に楽しいひとときです。

次代を担う子ども達が絵本からはじまる読書の習慣によって、心豊かに育つことを願って、今年も元気で活動出来ればと思っています。

絵本バンザイ

あど川ふじ太鼓



初春のおよろこびを申し上げます。あど川ふじ太鼓は、1996年にグループを結成し、和太鼓の楽しさや温かさを多くの人達に伝えたいと各地域のイベント参加や福祉施設の慰問などを行っています。メンバーのほとんどが女性で、日本の伝統芸能の継承を目指して次の世代を担う子ども達に和太鼓の楽しさを伝えるために、若き指導者松丸純詩氏のもとで頑張っています。そして3月4日には安曇川公民館で開催される「子どもなんでも発表会」で成果を披露しよう、現在子ども文化体験塾を開催しています。これからも地域の活性化の一助となるように研鑽していきますので皆様の応援をお願いします。

(毎週土曜日に安曇川公民館で練習をしておりますので見学にお越し下さい。)



高島市長 西川 喜代治

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、日頃からまちづくりにご尽力をいただき心よりお礼申し上げます。

地域が抱える課題やニーズが年々多様化し、複雑化する中で、これらの解決に取組み、魅力と活力ある地域を作り出すためには、市民や事業者の皆様と行政が連携し、それぞれの責任と役割を踏まえて、協力しあう「協働のまちづくり」がますます重要になっていきます。

市内では、各所で市民の皆さんが中心となって創意と工夫を凝らしたまちづくりや様々な活動が展開されており、協働の進展をひしひしと感じております。

現在、高島市では「びわ湖源流の郷たかしま」をキーワードにした地域づくりを進めております。今後は、更に皆さんの考えや行動を原動力として、相互に共感と感動を与え、活動のネットワークを拡げることによって、地域に元気を与え、皆で支え合う魅力的な「新しい公共」の創造へと発展していくことを期待し、応援させていただきたいと思います。

高島市子育て支援グループ サンサン



明けましておめでとうございます。私達、サンサンは、高島市の子育てを目的として発足三年目になります。グループはマキノ・今津・新旭・安曇川(含朽木)・高島の五つの支部と34名の保育サポーターで構成され、講演会、イベントでの一時預かり保育、保育園、幼稚園、赤ちゃん訪問の活動を行っています。

赤ちゃんや幼児の様子を見てみると自然に笑みがこぼれます。子ども達は宝です。

私達も元気をもらっています。こんな可愛い子どもを虐待するなんて考えられません。

親が守り育てていけないといけないのに虐待事件などをニュース等で見ると本当に悔しくて心が痛みます。

子育ては、ゆったり、のんびり、あたたかな気持ちで行うのが理想です。私達もお手伝いさせていただきますので、一人で子育てに悩まなごい、私たち、サンサンを利用して下さい。

新年明けましておめでとうございます。私達、

「今津まちづくり情報センター」は今津地域において「まちづくり」の活動をされているグループの事務的なお手伝いをすると共に、今津地域の旬な情報をリアルタイムで広報することにより「今津」の知名度を上げ、地域の活性化に少しでも寄与出来ればと思います。昨年10月3日に4名の構成による、ボランティア市民団体として発足いたしました。発足後の三ヶ月間は準備計画に時間を費やしましたが、いよいよ新しい年明けと共に、我々「今津まちづくり情報センター」も本格的な活動を行い、今津地域の「まちづくり」の一端を担い貢献したいと思えます。

また、「情報センター」の事業目的の一つとして、地域の人が集まる場所づくり【交流サロン】を掲げています。皆様方もお気軽にお立ち寄り下さい。

(場所は、高島市役所今津支所玄関横、平日(月)金の午前10時から午後4時まで就業しています。)

今津まちづくり 情報センター



明けましておめでとうございます。

お陰さまで、四年目を迎えようとしています。

たかしま市民協働センターは、二〇〇九年に公設市民営という形態で東「ミセン」内に設立以来、「市民協働のまちづくり」の基本理念の下、自治会やNPO・ボランティアグループや多くの市民の方たちを結び、中間支援センターを目指して活動しています。

高島市における協働の第二ステージは、「高島らしい市民協働に向けた提言」の策定でした。そして、第二ステージは、実践するための原則や推進策などをまとめた「市民協働のまちづくり推進指針」高島市らしい市民協働の実現に向けての「指針づくり」でした。その推進指針の元、当センターでは、市民活動屋台村やまちづくり研修会の開催など、三年間で多くの市民・活動団体の方、また行政とも協働し、現在に至っています。「まちづくり」という共通の目標に向けて、ともに育ち、連帯するという「協働」の理念のもと、今年には新たなステージを目指しています。

住民自ら参画し、協働するまちづくりの推進のために、さらに中間支援機能を充実していこうと思っています。多くの市民・活動団体の方が頻繁に利用されることにより、より有効にセンター機能が発揮されますので、一層のご支援を宜しくお願いします。



たかしま市民
協働交流センター
協議会 運営委員長
榊 始

マキノのメタセコイア並木を 守り育てる会



マキノのメタセコイア並木は、マキノピックランドからマキノ高原までの総延長約二・五キロにわたって植えられた五百本ものメタセコイアによって形成された並木です。

四季が織りなす雄大な景観が話題を呼び、全国から多くの観光客が訪れるようになり、それらをきっかけとして平成二十二年にメタセコイアの保育管理及び並木活用による誘客宣伝の活性化を目的とした「マキノのメタセコイア並木を守り育てる会」が創立発足しました。

活動は会員の他、近隣集落の人々の協力を得て、毎回三十人から四十人ほどの方によって並木の清掃や、木々の剪定などの作業をされています。



ところで、会の発足以前より、並木を通じたまちづくり活動が三十年以上も前から行われてきたことをご存じでしょうか。

並木は昭和五十六年（一九八一年）に学童農園「マキノ土に学ぶ里」整備事業の一環として、マキノ町果樹生産組合によってマキノ栗園（現ピックランド）の防風林として植えられました。木には風に強く、美景並木の形成が期待でき、また近隣でメタセコイアの化石が発見されたことからメタセコイアが選ば



れ、マキノ栗園内をマキノ高原に走る幹線町道沿い約二キロの両側に、四百本の苗木が植栽されました。



また、数年後には滋賀県と牧野区によって残り五百メートルの部分にメタセコイアが植えられ、以後関係者をはじめとする地域の人々の手によって育てられ、今日の壮観を形成するに至っています。

近年は、韓流ブームの舞台と似ていることで注目を集め、著名な景観スポットとしてマキノのランドマークとなっています。ツアーコースにも組み込まれることが多くなり、県外から沢山の観光バスがこの地を訪れる様になりました。

この地域周辺では冬期はスキー客の利用が大半でしたが、メタセコイア並木が有名となり、雪で

真っ白に染まった並木を撮影するカメラマンが多く訪れるようになりました。

メタセコイア並木以外にも、マキノは年中を通して自然が楽しめる地域であり、沢山の魅力がふられています。「マキノのメタセコイア並木を守り育てる会」の皆さんの努力によって、この美しい景観が将来も大切に守り育てられることを期待しています。



現在、並木のメタセコイアは約二十五メートルもあるようですが、この木は最長三十五メートルの高さに成長するそうです。

これからも観光の目玉の一つとして並木を守り、そして大きく育つ木のようにマキノ地域を盛り上げていくまちづくり活動が続いていければいいと思います。

（竹内記）

お問い合わせ

マキノのメタセコイア並木を

守り育てる会

Tel. 0740-27-1118

（マキノピックランド内）



市内にはよさこい踊りチームが4つある他、保育園や小学校で取り入れているところがあります。そんなよさこい踊りの楽しさや魅力を近江座禅童子代表の上田則隆さんにお聞きしました。

Ⓐ: 上田さん、①: インタビュアー

① 先ずグループが出来た背景をご紹介ください？

Ⓐ 5、6年前に今津町の商工会青年部メンバーが、今津商人(あきんど)魂、というグループで始めたのが我々の母体となっています。現在のメンバーは約20名です。



① よさこい踊りの魅力は？

Ⓐ 小さな子どもから大人まで一緒にになって大きな声をだして踊れること。最初は子どもたちがやってみたくて来てくださるのですが、練習の送り迎えのお母さんやお父さん達の体が自然に動き出し、いつの間にか踊っておられます。そうして、気がつくとも子どもたちの繋がりが、いつの間にか大人の繋がりに広がっています。

① 踊りを見ていると結構ハードなように思えますが？

Ⓐ よさこいの良い点は、子ども達は子どもなりに、初心者は初心者なりに踊れることです。音楽が始まると自然に体が動き出します。練習はきつくても、大会ではみんな笑顔で楽しく、をモットーにしています。一緒に体を動かして大きな声を出している、仲間だ！という気持ちで繋がりますし、兎に角、気分すっきり、ストレス解消が一番です。

① ところで、練習や活動はどの様にされていますか？

Ⓐ 毎週火曜日の夜、今津東コミセンで練習していますので、是非見に来てください。そして、月1回子どもたちがゆっくりできる金曜日の夜に宮ノ森でも練習しています。



活動としては各地域の夏祭りから声がかかったり、区や自治会のイベントにも呼んでいただいたり。子どもたちが元気に踊っている姿を見ていただくと、見ておられる皆さんも元気が出るように喜んでいただけます。そして大会もあって、出場するチームは独自の踊りを持ちよって競演するので、お国自慢みたいで楽しいですね。我々は高島音頭を取り入れた高島バージョンを持って行きます。



① そういえば、御食国若狭おばま YOSAKOI 祭 2011 のポスターがありましたね。

Ⓐ 実は、我々も出場してきました。それから目標はお隣の長浜市の「浅井あつぱれ祭」という近畿でも有数の大きな YOSAKOI イベントに出場することです。こ

のような大きな舞台でアピールしようとする、できれば30人ぐらいのメンバーが欲しい…

① と言うことは、メンバー募集中ですか？ 条件とかは？

Ⓐ 条件は特にありません。男女・年齢・地域は不問。経験が無くても大歓迎です。恥ずかしがらずに大声を出せる人が希望ですが、練習をしている内に皆さん期待以上になって下さっています(^^)

① 年齢をこえた交流でストレス解消！楽しそうですね。有り難うございました。

よさこい祭は高知県で1954年に始まった。素手で踊る阿波踊りに対し、鳴子を手に持って踊るのが特徴。
ソーラン節を取り入れた YOSAKOI ソーラン祭りが北海道で開催されてから注目され、全国各地で大会が開催されている。現在のよさこいは地元伝わる民謡や演歌、ヒップホップなどを楽曲や振り付けに取り入れ趣向を凝らしたものになっている。

お問い合わせ：近江座禅童子 上田 則隆
Tel: 090-8383-4160
<http://id53.fm-p.jp/332/imazuyosakoi>

わがまち散歩

すてきたかしま再発掘

安曇川町の田中神社から三尾里周辺はミステリーゾーンなのをご存じでしょうか？

田中神社の裏手には「田中王塚」と呼ばれる立派な古墳があります。ここは継体天皇の父「彦主人王の墓」とされており宮内庁が管理しています。更に、そこから200メートルほど下ると、継体天皇の母「振媛」が3つ子を産んだ時にもたれかかったという「安産もたれ石」がありますが、説明版には謎めいた「ほつま文字」で書かれた古文書「秀真伝」がこの地に残っていたと書かれています。

そして、そこからさほど遠くない「安閑神社」には「神代文字の石」と呼ばれる不思議な文様のある石が残っています。元々日本には文字文化はなく、大陸から漢字がもたらされたと言われていますが、「ほつま文字」や「神代文字」が本当に日本の古代文字であるなら、日本史が大きく

塗り替えられることになるのです。その他にもこの周辺には多くの遺跡が残っており、古代史に興味がある人には外せないエリアです。

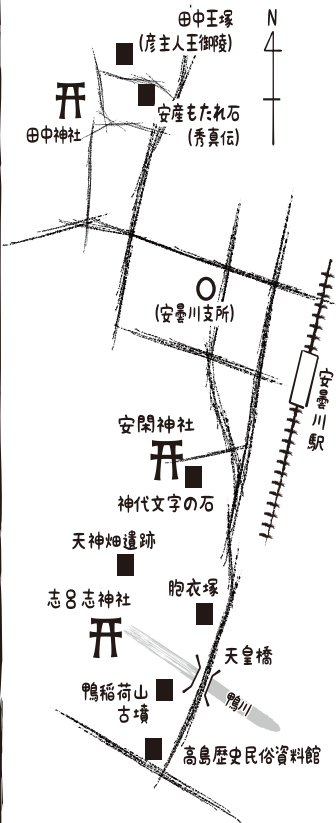
昔、大陸の人や文化、技術は若狭や敦賀に入り、湖西を経て都へ移動したと言われていますが、歴史や文化を中央（都）視点で考えるのではなく、往事の人や物の流れに沿って、高島のような地方から見直してみると新しいものが見えてくるかも知れません。

*3つ子の第三子が継体天皇になったといわれている（NIGA記）



神代文字の石
(安閑神社)

ミステリーゾーン散策マップ



言の葉たより



市外の方が語られた高島市の印象を紹介するコーナーです。今回は「朽木秋まつり in てんくう」にて、イワナを購入しておられたご夫婦にお話を伺いました。

私達は普段は大津で暮らしているのですが、週末は朽木の別荘で過ごしています。

ここには朽木本陣の朝市へ行った帰りに、イベントの看板を見かけたので訪れました。

するとちょうどイワナを焼いていたので、久しぶりに*イワナ酒を作って飲もうと思っています。

朽木はのんびりと出来て、景色のいい所だと思います。

私は読書が好きで、朽木の図書館を良く利用させてもらっています。また、数年前から干し柿づくりにチャレンジしているのですが、毎年おさるに食べられてしまっているんですよ。

今日は別荘で朽木の景色を見ながら、作ったイワナ酒を飲んで、まったりと過ごす予定です。

*イワナ酒
焼いたイワナをお酒につけたもの



グリーンパーク 思い出の森

比良山系の北端に位置する、緑に囲まれた森林公園で、様々なレジャースポットがあり、大自然を身近に感じながらアウトドアを楽しむことができます。

また、くつき温泉「てんくう」では朽木の四季を眺めながら温泉に入ることが出来、日々の疲れを癒してくれます

まちおこしのプロに学ぶ

高島市の
まちづくり

具体的提案!

まちづくり新春のつどい & 市民活動賀詞交歓会

日時：平成24年1月22日(日)午後1時30分～

場所：今津サンブリッジホテル 2F (Tel. 22-6666)

料金：第一部 ¥1,000、第二部 ¥3,000

主催：高島市男女共同参画推進協議会、たかしま市民協働交流センター

協力：高島市(市民環境部 市民活動支援課)

第一部 まちづくり新春のつどい

参加費：¥1,000 (ケーキ&飲みもの)

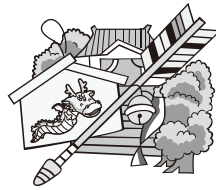
13:00～13:15 受付

13:15～14:30 まちづくり講演

講師：(株)玄 政所 利子氏

演題：今、時代の風は高島に!

14:30～15:30 参加者交流(みんなで歌いましょう♪)



第二部 市民活動賀詞交歓会

参加費：¥3,000 (料理&飲みもの)

15:45～17:30 賀詞交歓・歓談・交流

市民活動団体の活動紹介パネル展示、イベントチラシの配布・呼びかけなど大歓迎です!



参加申し込み・お問い合わせ

たかしま市民協働交流センター事務局 Tel. 20-5758 まで
参加申し込みメ切：平成24年1月18日(水)

高島市男女共同参画推進協議会とたかしま市民協働交流センター協議会では、平成24年の新春にあたり、まちづくりの想いを新たにし、市民活動関係者の交流を目的として「新春のつどい・市民活動賀詞交歓会」を開催します。

今回は、「地域食」をキーワードに全国各地のまちおこしに関わり、数多くの成功を成し遂げておられる政所利子さんをお迎えします。政所さんは、発酵食品の権威でもあり、その知識、意識はまさしくプロ。高島市の魅力やまちおこしのヒントについて熱く語っていただきます。

そして第二部では講演で聞きにくかったことについても、政所さんとじっくり意見交換していただける時間を取ります。

“まちづくり”に関心のある“あなた”にこの一冊!!



販売開始!!



¥1,575 (税込み価格)

¥1,200 (高島市民特別価格)

●6つの真珠 / 高島市における市民協働の歩み

購入申し込みは たかしま市民協働交流センター まで! 電話 20-5758

7年前の合併以降、「高島はひとつ」を合い言葉に多くの市民がまちづくりに取り組んできました。本書は、こうした高島市の市民協働によるまちづくりの考え方やその背景を網羅することを目的とし、NPO・市民活動、まちづくり委員、区・自治会、市職員、大学など、幅広い関係者が集って企画・編集・執筆にあたりました。多くの方々に読んでいただき、高島市における市民活動や協働の現状と今後の課題などを知っていただければ幸いです。

(6つの真珠 編集委員会)

内容

- 第1章 高島はひとつ
- 第2章 協働交流センター誕生の軌跡
- 第3章 高島版地域自治組織「まちづくり委員会」
- 第4章 走り出した、たかしま市民協働交流センター
- 第5章 協働のこれから

横の長さ 85 mm

縦の長さ 28 mm

募集 広告

次号のたかしまウォッチ第15号
発行は2月24日前後 締切り2月1日(水)

規格：縦の長さ 28mm×横の長さ 85mm
一色刷り

掲載料：1か月(1発行限り) 10,000円
発行部数：18000部

お問い合わせ たかしま市民協働交流センターまで[連絡先7ページ下]

たかしま INFORMATION

近江扇面展

300年の歴史を誇る伝統工芸の地 高島で
色とりどりの扇面作品を展示

日時：平成24年1月7日（土）～1月24日（火）
9：00～17：00まで（第2・4水曜日は休館）

入場料：無料

会場：道の駅藤樹の里あどがわ 扇子ギャラリー

主催：近江扇面展実行委員会

後援：高島市・高島市商工会

（社）びわ湖高島観光協会・オオヤマホールディング（株）

お問い合わせ

道の駅藤樹の里あどがわ ☎0740-32-8460



絵本のある交流スペース、みんなの居場所

絵本とおはなし かめの部屋

今津北デイサービスセンターしふくの杜地域交流スペースで
毎月第1&第3土曜日 13：30～15：30 にオープン！
（他の事業と重なる時はお休みする場合があります）

1月の予定：1月21日（土）

2月と3月は、おでかけかめの部屋を実施します！

（2月：雪と遊ぼう！3月：カフェかめの部屋）

日時と場所等の詳細が決まり次第、図書館や公民館に
ちらしを配置しますので、ご覧ください。

お問い合わせ

NPO法人絵本による街づくりの会事務局 ☎0740-27-8156



リズム体操教室生徒募集

“誰でも きがるに” がモットー

リズムにのって、体も心もスッキリ！！

とき：平成24年2月3日（水）より

毎週木曜日 13：30～14：15

場所：いきいき元気館

受講料：1ヶ月 1,200円＋施設利用料

定員：10名（ただし、5名に満たない場合は中止します）

主催：NPO どころこ

お問い合わせ

いきいき元気館 ☎0740-25-6541



2012 今津ザゼンソウまつり

春の訪れを一足先に感じませんか

平成24年2月26日（日）開催！！

◆ザゼンソウウォーク&学びのつどい

集合：JR近江今津駅東口広場 9：10（受付は9：00～）

参加料：1,000円（資料代・ガイド料・保険代・講師料など）

募集人員：120名（要申込・先着順）

◆ザゼンソウ交流市

日時：10：00～15：00

場所：ザゼンソウ群生地入口付近

申込み 及び お問い合わせ

今津まちづくり情報センター ☎0740-22-6840



第11回「森林・緑と水といのち」 写真コンクール作品募集

滋賀県内で撮影された「森林・緑と水といのち」を基本テーマにした
作品を募集します。多くの方々の応募をお待ちしています。

応募期間：平成24年1月4日～平成24年2月29日

応募資格：滋賀県内に在住、通勤又は通学する方

応募内容：滋賀県内で撮られた写真

主催：財団法人滋賀県緑化推進会

後援：滋賀県・滋賀県教育委員会

応募方法、詳しい内容につきましては財団法人滋賀県緑化推進会のホームページ
または下記へお問い合わせください

（財）滋賀県緑化推進会 ☎077-522-7828

Have a
Nice winter.



たかしま市民協働交流センター協議会

たかしま市民協働交流センターは、市民活動、NPOを応援しています。

◆〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼1-4-1

（今津東コミュニティーセンター内）

◆TEL：0740（20）5758 FAX：0740（20）5757

◆URL：http://tkkc.takashima-shiga.jp/

◆E-mail：webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

◆開館時間：10時～19時

◆休館日：日曜日・祝日・年末年始（12/28～1/3）

たかしま市民協働交流センター協議会

会員募集

たかしま市民協働交流センターは、市民の皆様が開かれた
運営を目指して会員制の協議会として生まれ変わりました。
ついては、センターの運営を共に考えていただける会員を
募集しています。

正会員：個人*

（入会金：なし、会費：年額2000円**）

賛助会員：個人及び法人・団体

（入会金：なし、会費：年額1000円**）

*：高島市に住居を有する個人

**：平成24年3月31日までは会費はいただきません。

連絡先：たかしま市民協働交流センター協議会 事務局

☎0740-20-5758



この印刷物は、古紙パルプを配合した再生紙と
大豆油インキを使用しています。